

帝國主義大學体制解体!!

佞利末端權力打倒! 救済權力奪取!

全共斗權力のもと、大学全権限を集中せよ!

全斗争闘争の突出として三百余日、非妥協的に闘い抜き、そして国家権力の暴圧と吉田体制の愚辣さゆえに策謀によって、全学バリケード解除をはじめ空前の大弾圧を受けながらも、不死鳥の如くいままた新たな闘いの旗ともえ上った日大斗争のその成列に勇躍結集した。全ての日大生諸君! とりわけ、そうした日大に入学し、革命的な日大斗争の戦士として自ら闘うことを決意した多くの新入生諸君! 60年代後半における、反帝・反戦斗争の全人民的な激化のこと、とりわけ今日の全斗争は大学斗争が切り拓きつつある新たな階級情勢のなかで、いま、われわれに課せられた階級的任務に応え、全斗争の取場、学園、都市に、重大な決意をもって闘いを割り出して行く。ゆが日本大学全学部の公試より、同志諸君に限りない連帯と反情の授けをおくる。

87 10 2 日大斗争にはじまる諸斗争は、青年労働者と学生を先頭とし、極不逞人民

とともに、大衆的に闘い返されてきた。明らかにはじめの闘いは、それまでの全ての闘いの原動力として、とりとえ、日本階級斗争の新たな画期をなす飛躍的發展をなすためだ。それは、権力に対する非妥協的闘争のなかで、はじめに日本の人民が帝國主義国家権力打倒のための武装を、自ら開始した、というのである。そしてそれらの闘いは、近三保、三子、成田、新宿斗争など、いまや同じ旗を掲げて日大斗争、東大斗争をはじめとする、全斗争の入り組へと展開した。すなわち、全共斗による校舎占拠を通じて、分は遠近帝國主義国家戦略配備としてあった帝國主義大学体制を暴力で解体し、救済権力を奪取する、というところがその闘いの旗であり、当面佞利末端権力を打倒する闘いとしてそれはある。権力に要求する闘い、抗議する闘い、あるいは何々の政策に反対する闘い、そのりこえて、いまや帝國主義体制そのものに敵対する闘いがある。

人民の突出部における闘いとしての、現在の諸大学斗争は、既成政治同盟による私物化型の自治会、全学連運動の破産のなから、大衆斗争の必然的組織として、大衆によって割りあけられた、全共斗運動を中軸に、戦後最大の偽妄たる「平和と民主主義」への完全な破産宣言をつきつけた。のみならず、帝國主義国家そのものを最後の打倒目標

として確認し、体制の別列末端権力を打倒して自ら「反帝反戦斗争」の一大拠点構築のための拠点権力を奪取すること、戦略として確認するといふ實的發展を獲得した。そして一方、大学斗争は、武装せる大学を内突化する「反大学」の展望を生み出した。今日迄の全ての体制化された等向・文化情况への、この大胆な破産宣言こそは、政治的過程における非和解的実力斗争、すなわち、政治メカニズムサボタージュ（破壊）とともに、この未曾有の寄生性と腐朽を体现した帝國主義の全情况进行打ち砕き、人民の解放を追求するための、思想的・理論的に武装せる大学を、全権力下の制圧下のなかり、永続斗争を通じて實現していくことに他ならない。従つてまた、現在の日本帝國主義支配体制を縦に質き、腐朽した体制の危殆を補強する、いわば体制イデオロギーを階層として造り出す、管理者的大学院大学理想をも完全には収とぼす。

帝國主義国家権力はそれ故にこそ、おどろきあつて暴虐の大学治安立法を画策したのである。大学をより強化された帝國主義支配秩序の中に編成するところのみとして、すでに三月三日に明示した大学特別立法案の策謀からはじまり、中教審答申、警察独自判断、等々。警察国家、恐怖政治への公衆を準備するこの情況は、全人民によつて高らかに囁らされたはじめた帝國主義の最期の警鐘、とりわけその突如部たる大学斗争が、全面的につき出したブルジョア支配網の破壊と、大学斗争の戦略的展望に恐怖した帝國主義者共の必死の対応に他ならない。

だが等諸君、吾全ての同志諸君、現在われわれが立ち至つていける階級情勢は、もはや旧価値体系の根底的破壊を伴つて、人民の物理的・思想的・理論的武装が、一層深化し、大学斗争が展望する戦略的方針も、そのほかますます明らかになつていゝる。帝國主義大学体制を解体する方向で、当面、九項目貫徹、古田体制打倒を完遂し、再度の全学バリケードストを断固なちとり、そのほかから、大学当局への最終的な破産宣言をなし、全権力のもとに大学全権限を集中せよ、そしてそれを土台に、全学斗争運動の恒久化、永続斗争宣言をなすことである。いわば、外に向つて開かれた日本大学武装コンミュニオンとして、反帝反戦斗争の一大拠点たれ！！

古田体制打倒九項目貫徹！！全学再バリケードストをなちとれ！！

大衆的全学斗争運動の再編強化をおし進め、永続斗争を宣言せよ！！

一九六九・五・一二

日本大学斗争支援全学部OB会談